

科目名	MC概論2								年度	2024	
英語科目名									学期	後期	
学科・学年	マンガ・アニメーション科	マンガコース	1 年次	必／選	選1	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	高田悠平				教員の実務経験		有	実務経験の職種		マンガ編集者	
【科目の目的】											
技術的スキルだけでなく、クリエイティブな思考と表現力の両方を磨くことを目的とします。 ジャンルの掲載媒体ごとの表現、影響を受けた作家の研究・分析を行い、自身の表現スタイルの方向性を見つけ出す。 さらにグループワークを用いて、自らの考えを他者と共有することや、創作の多様性を知覚することでクリエイターとして必要な自分の考えを持ち、まとめていく能力を身に着ける。											
【科目の概要】											
様々なアプローチのネーム演習を実践し、マンガ制作の工程において最重要とも言えるネームの演出力を向上する。 ジャンルの掲載媒体ごとの表現、影響を受けた作家の研究・分析を行い、自身の表現スタイルの方向性を見つけ出す。 さらにグループワークを用いて、自らの考えを他者と共有することや、創作の多様性を知覚することでクリエイターとして必要な自分の考えを持ち、まとめていく能力を身に着ける。											
【到達目標】											
A. ネーム演出力の向上：ネームの演習を通して演出方法を強化する。 B. 多様な創作手法への理解：多様な創作手法への理解を深め、自身の表現スタイルを発見する。 C. コミュニケーション能力と協調性：グループワークを通じたコミュニケーション能力と協調性の強化。 D. プレゼンテーションスキル：企画プレゼンを通じて論理的思考能力と対応力を身につける。 E. 批評的思考と自己表現：批評的思考と自己表現の能力の向上。											
【授業の注意点】											
知識や手法の理解だけでなく、実践的な活用にも重点を置き、積極的に実践と実験を行うこと。 与えられた課題には締め切りを守って全力で取り組み、締切を厳守すること。 グループワークでは、チームメンバーとのコミュニケーションと協力を重視し、共同での成果創出を目指す。											
評価基準＝ルーブリック											
ルーブリック 評価	レベル5 優れている		レベル4 よい		レベル3 ふつう		レベル2 あと少し		レベル1 要努力		
A ネーム演出力の習得	ネームの演出が卓越しており、物語を鮮明に表現できる		演出方法を理解し、効果的なネームを作成できる		基本的なネーム作成はできるが、演出に深みが足りない		ネームの演出が単調で、表現力が不足している		ネームの演出力が不足している		
B 多様な創作手法への理解	多様な手法に精通し、自分のスタイルを明確に示せている		様々な手法を理解し、適切に応用できる		基本的な手法は理解するが、応用には限界がある		手法の理解が浅く、応用が不十分である		創作手法への理解が不足している		
C コミュニケーション能力と協調性	グループ内でリーダーシップを発揮し、高度な協調性を示せている		グループワークに積極的に参加し、良好なコミュニケーションが取れる		平均的な参加と協調性を示せている		グループワークに消極的で、協調性が足りていない		グループワークに参加せず、協調性がない		
D プレゼンテーションスキル	プレゼンテーションが卓越しており、論理的思考と対応力を示せている		効果的なプレゼンテーションを行い、適切な論理展開を示せている		基本的なプレゼンテーションはできるが、説得力に欠けている		プレゼンテーションが不安定で、構成力が不足している		プレゼンテーションの技術や論理性が不足している		
E 批評的思考と自己表現	批評的に深く考え、独自の強い自己表現を持っている		批評的思考ができ、適切な自己表現を示せている		平均的な批評的思考と自己表現を示せている		批評的思考や自己表現が未発達である		批評的思考や自己表現が不足している		
【教科書】											
筆記用具、ノート、PC											
【参考資料】											
テーマに沿った資料配布を行う。参考書・参考資料等は授業中に指示をする。											
【成績の評価方法・評価基準】											
作品提出および授業態度。時限出席率75%以下は課題提出しても不合格となります。											
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。											

科目名		MC概論2				年度	2024
英語表記						学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	計 画 座 席	日 コ コ
1	ネーム演習1 「登場」	ネーム演出力の向上		登場シーンの解説	効果的なネーム演出の理解	3	
				登場シーンのネーム制作	実際のマンガ作品を分析し知識を得る		
					キャラクターに適した登場シーンの演出手法の習得		
5	ネーム演習2 「会話」	ネーム演出力の向上		会話シーンの解説	効果的なネーム演出の理解	3	
				会話シーンのネーム制作	実際のマンガ作品を分析し知識を得る		
					会話のリズムや感情を踏まえた演出手法の習得		
3	ネーム演習3 「クライマックス」	ネーム演出力の向上		クライマックスの解説	効果的なネーム演出の理解	3	
				クライマックスのネーム制作	実際のマンガ作品を分析し知識を得る		
					魅力的なクライマックスシーンの演出力の向上		
4	ネーム演習4 「メタファー」	ネーム演出力の向上		メタファーの解説	効果的なネーム演出の理解	3	
				メタファーを使用したネーム制作	実際のマンガ作品を分析し知識を得る		
					メタファーを使用して、発展した演出力の向上		
5	少年誌・青年誌の表現方法	表現スタイルの研究		表現方法の解説	少年誌・青年誌の特徴を理解する。	3	
				各自で分析を行い、ディスカッションで共有する	多角的な視点で意見を出し合い理解を深める。		
				レポートの提出			
6	少女誌・レディースコミックの表現方法	表現スタイルの研究		表現方法の解説	少女誌・レディースコミックの特徴を理解する。	3	
				各自で分析を行い、ディスカッションで共有する	多角的な視点で意見を出し合い理解を深める。		
				レポート提出			
7	誌面とデジタルの表現方法	表現スタイルの研究		各掲載媒体における表現方法の解説	掲載媒体の特徴を理解して、創作スタイルに応用する。	3	
				各自で分析を行い、ディスカッションで共有する	多角的な視点で意見を出し合い理解を深める。		
				レポート提出			
8	影響を受けた作家の分析	表現スタイルの研究		分析方法の解説	自身の創作のルーツを探ることで、表現スタイルを明確化する。	3	
				個々の影響を受けた作家の分析	表現スタイルの方向性を固めて、今後の作品制作に反映する。		
				レポート提出			
9	企画会議ワーク事前準備	企画会議の目的と効果をレクチャーする		企画会議の目的と効果	目的と効果を理解し、企画会議への期待を高める	3	
				マンガ編集者の打ち合わせの仕方	多角的な視点でフィードバックを行えるようにする		
10	企画会議ワーク1-1 (個人ワーク)	題材について理解を深め、企画の制作を行い、発想力・考えを整理する力を養う		テーマ発表・解説	テーマの特徴を捉える	3	
				テーマについてグループディスカッション	テーマに関する情報収集を協力して行い、企画に反映する		
				個人で企画の作成			
11	企画会議ワーク1-2	企画プレゼンを通して、コミュニケーション能力・論理的思考能力・批評的思考を向上		グループ内で企画発表	プレゼンテーションスキル・コミュニケーション能力を磨く	3	
				フィードバック	批評を通じて自身の考えを整理すると共に、発想を広げる		
				ブラッシュアップ	最適な資料へと調整し、企画を完成させる		
12	企画会議ワーク1-3	企画プレゼンを通して、コミュニケーション能力・論理的思考能力・批評的思考を向上		グループ内で再度発表	プレゼンテーションスキル・コミュニケーション能力を磨く	3	
				各グループの優秀作品を全体発表	ワーク全体を通しての思考・行動を振り返り客観的な視点を養う		
				振り返りレポート提出			
13	企画会議ワーク2-1 (個人ワーク)	題材について理解を深め、企画の制作を行い、発想力・考えを整理する力を養う		テーマ発表・解説	テーマの特徴を捉える	3	
				テーマについてディスカッション	テーマに関する情報収集を協力して行い、企画に反映する		
				個人で企画の作成			
14	企画会議ワーク2-2	企画プレゼンを通して、コミュニケーション能力・論理的思考能力・批評的思考を向上		グループ内で企画発表	プレゼンテーションスキル・コミュニケーション能力を磨く	3	
				フィードバック	批評を通じて自身の考えを整理すると共に、発想を広げる		
				ブラッシュアップ	最適な資料へと調整し、企画を完成させる		
15	企画会議ワーク2-3	企画プレゼンを通して、コミュニケーション能力・論理的思考能力・批評的思考を向上		グループ内で再度発表	プレゼンテーションスキル・コミュニケーション能力を磨く	3	
				各グループの優秀作品を全体発表	ワーク全体を通しての思考・行動を振り返り客観的な視点を養う		
				振り返りレポート提出			

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等